

# 環境報告書 2003



東レ株式会社 瀬田工場  
東レエンジニアリング株式会社 瀬田工場

# 瀬田工場



## 瀬田工場の概要

所在地 大津市大江1丁目1番1号  
〒520-2141 TEL(077)544-3500代表  
主な生産品 紡績糸・医療用具

### 沿革

昭和12年6月 瀬田工場建設  
昭和13年4月 スフ紡績・織布の生産開始  
昭和24年10月 スパンレーヨンを初出荷、  
10月17日を工場記念日に制定  
昭和27年10月 ナイロン・レーヨン混紡糸の  
生産開始  
昭和32年12月 ナイロンタイヤコードの生産開始  
昭和46年4月 オープンエンド精紡機を設置  
昭和54年4月 革新紡績機を設置  
平成4年8月 医療用具製造許可を取得し、生産開始  
平成5年10月 液晶カラーフィルターの生産開始



## 工場内の関係会社

### 東レエンジニアリング(株)

エレクトロニクス製造関連装置と検査、計測・制御機器、  
プリンターなどの設計、製作、施工

### 東レ・プレジジョン(株)

精密機器、光デバイスおよび工作機械類の製造・販売

### 滋賀殖産(株)

付帯業務の請負、各種製品の生産・加工・販売

### 東洋実業(株)

プラスチックレンズ製品等の加工、ボビンの回収、管理

# 目 次

## ごあいさつ

### 東レの環境に関する基本理念

### 東レ(株)瀬田工場環境方針

### 環境保全への取り組み

- ・ I S O 1 4 0 0 1 認証取得
- ・ 水質汚濁防止
- ・ 大気汚染防止
- ・ 廃棄物の削減
- ・ 地球温暖化防止
- ・ 環境保全訓練

### その他の活動

- ・ 地域社会とのコミュニケーション

## ごあいさつ

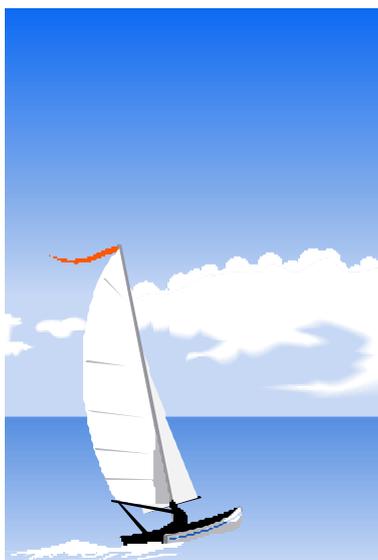
東レグループは、安全・防災・  
環境保全を最優先経営課題として取り組んでいます。

東レグループは、経営理念の行動指針に「安全・防災・環境保全を最優先課題とし、社会と社員の安全と健康を守り、環境保護に努めます」と掲げ、省エネルギー、廃棄物の削減化学物質の排出抑制、リサイクルなど、環境活動の充実に努めています。

当工場は1938年に生産を開始し現在では生産のみならず、開発センター機能をも併せ持った複合工場です。直面する環境問題に、レスポンスブル・ケア活動の一環として2000年9月に認証取得した、「ISO14001」環境マネジメントシステムを通じ、今後も環境保全・環境改善について積極的に取り組んで参ります。

本報告が、東レ瀬田工場および東レエンジニアリング瀬田工場の環境保全・環境改善活動について、皆さまにご理解いただく一助となれば幸いです。

瀬田工場長



## 環境に関する基本理念

東レおよび東レグループでは、安全・防災・環境保全を最優先経営課題とし社会と社員の安全と健康を守るとともに、環境保護とエコロジーに対応した製品・技術開発により社会に貢献していきます。

## 環境方針

近畿の水瓶琵琶湖に隣接する瀬田工場は周辺環境との調和を常に意識し、東レ（株）経営理念における行動指針「安全・防災・環境保全を最優先課題とし社会と社員の安全と健康を守り環境保護に努めます」に沿って、以下の具体的環境方針を策定し、瀬田工場内の関連する全ての従業員によって環境マネジメント活動を推進していきます。

1. 環境マネジメントの適正な運営により、環境マネジメントシステムを継続的に改善します。
2. 環境への排出物や廃棄物の削減を行い、汚染の予防と防止に努め、エネルギー消費の少ない工場づくりを進めるとともに、環境にやさしい企業活動を展開します。
3. 環境関連の法規制及び工場が同意したその他の要求事項を遵守します。
4. 環境目的・目標を設定し、その実現を図るとともに、定期的に見直します。
5. 本方針は文書化し、実行し、維持するとともに全従業員に周知徹底します。
6. 本方針は、一般に公開します。

制定：平成11年4月27日  
改訂：平成13年2月5日

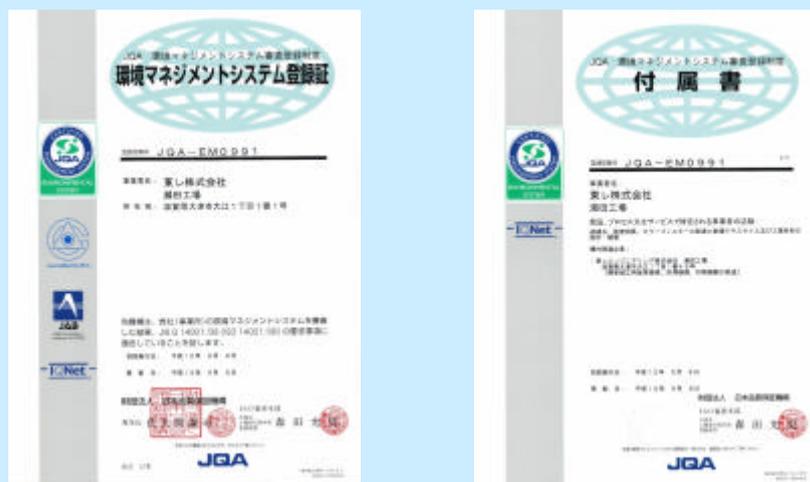
瀬田工場長



# 環境保全への取り組み

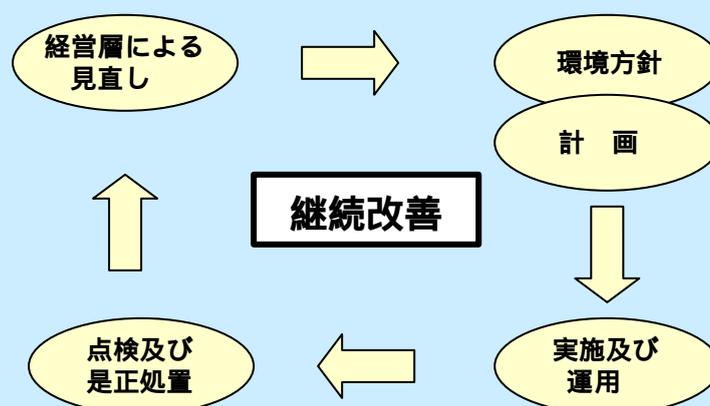
## ISO14001 認証取得

東レおよび東レエンジニアリングは2000年9月8日付で、環境マネジメントシステムの国際規格「ISO14001」を認証取得し運用しています。



## 平成15年度 工場目標

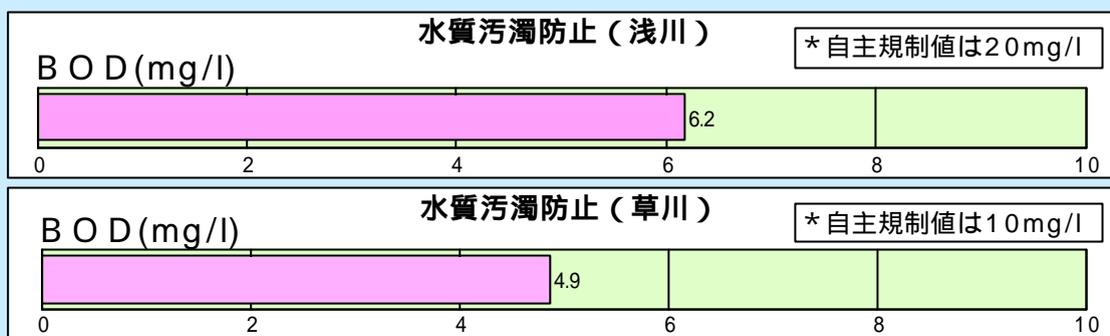
- ・ 総廃棄物の排出量を83.4tに削減する。
- ・ リサイクル率を91.9%に維持する。
- ・ 総エネルギー費用の1.95%削減する。



上記のシステムを継続的に実施することによって、環境負荷の低減や事故の未然防止に努めます。

## 水質汚濁防止

工場からの排水には、工場の敷地内を流れる浅川、草川への排水と、市下水道へ流す3系統の排水があります。その内浅川、草川の排水口には、pHと油の異常警報装置および油分離装置を設置し、万一の場合に早期発見と公共水域への流出防止ができるようにしています。また、草川については下流堰の所に油の異常警報装置を設置して、工場外から流出してくる水も含め、異常が発見できるようにしています。



BOD：生物化学的酸素要求量（有機物が微生物により酸化分解されるときに必要な酸素量。河川の汚濁指標。）  
2002年の最大実績値

## 大気汚染防止

ボイラーから排出される硫黄酸化物については、規制値より低い値で維持管理しています。

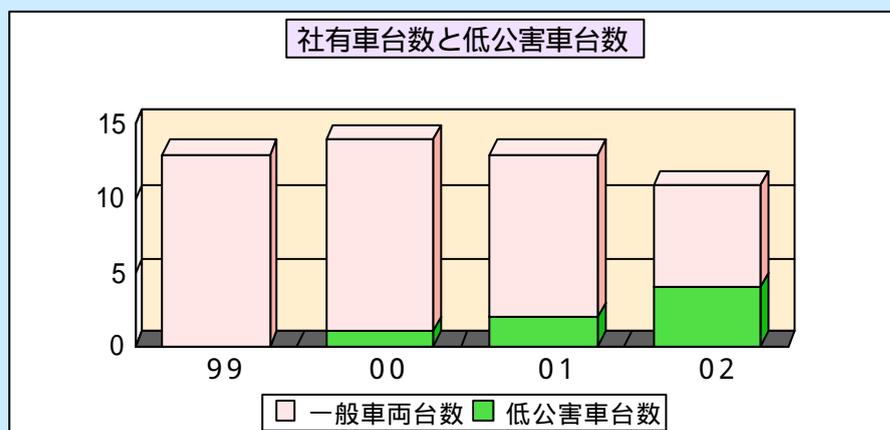


K値：硫黄酸化物排出基準の算出における数値  
2002年の最大実績値

### 環境負荷の低減

東レエンジニアリング（株）は、滋賀県自動車の使用に伴う環境負荷の低減に関する条例に基づき「自動車管理計画表」を作成し、下記項目を挙げ、環境負荷低減に努めています。

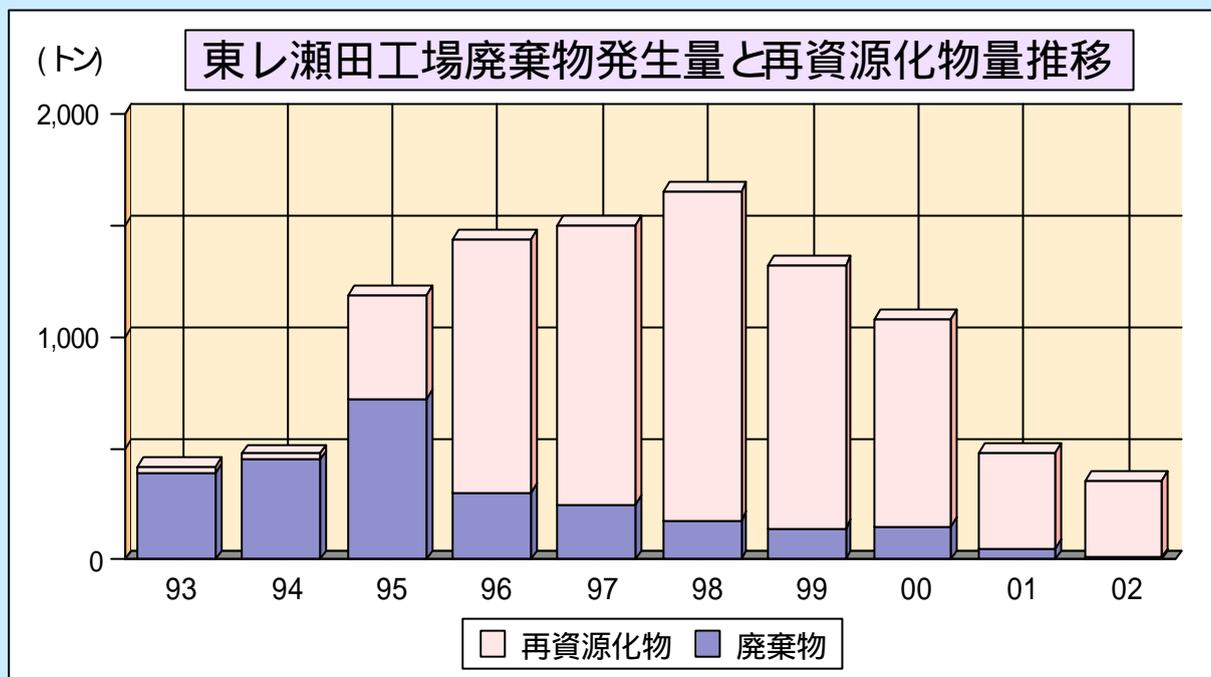
1. アイドリングストップの徹底
2. より低公害な自動車の使用・リース更新時低NOx車への転換
3. 燃料消費量および走行距離の削減



## 廃棄物の削減

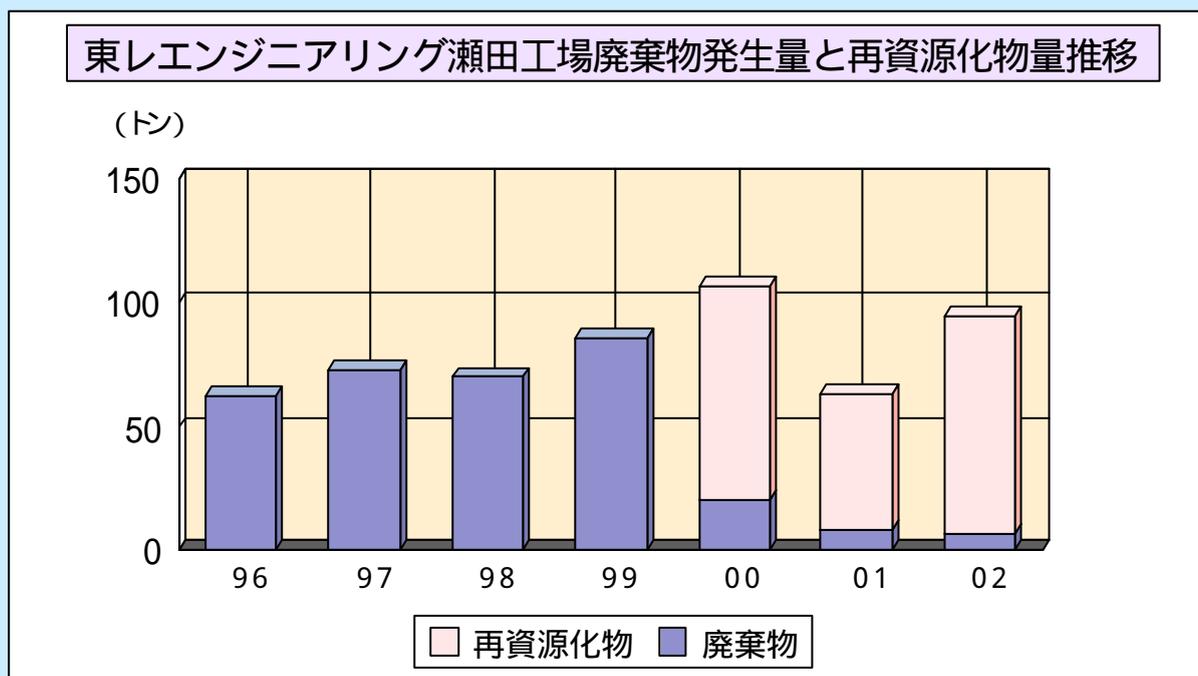
### 東レ瀬田工場

1999年から計画的な廃棄物削減に努め、廃棄物排出量の削減、再資源化を積極的に進めています。



### 東レエンジニアリング瀬田工場

東レエンジニアリング(株)瀬田工場は廃棄物を少しでも削減するため、2000年から削減目標を設定し計画的に総排出量の削減と再資源化を積極的に推進しています。

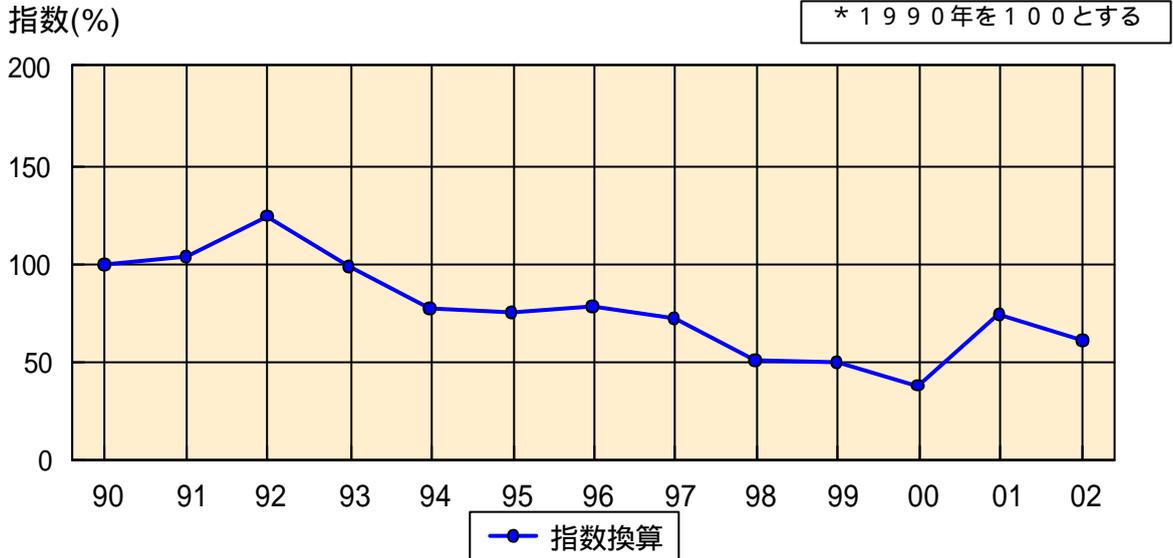


# 地球温暖化防止

## 東レ瀬田工場

地球温暖化防止策として、省エネルギーを通じて二酸化炭素排出量の削減に努めていきます。

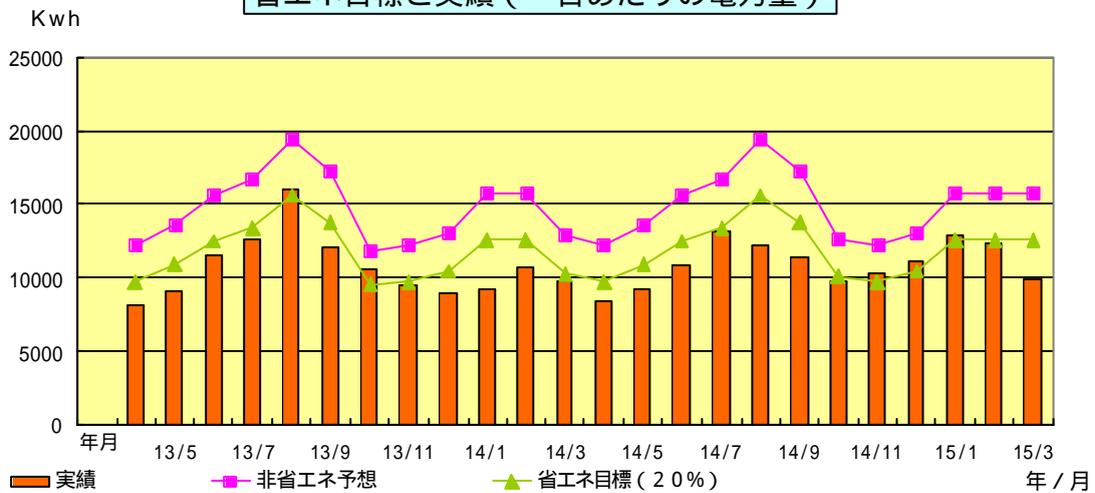
### 東レ瀬田工場エネルギー原単位推移



## 東レエンジニアリング瀬田工場

東レエンジニアリング(株)瀬田工場の業務形態から、エネルギーは電力が主であり、省エネルギー活動も電力消費を中心に展開しています。日常の活動として、電力消費の多いクリーンルームの室温・運転管理やエコアイスの導入、さらに不要時の照明の消灯、OA機器のOFF化等こまめな日常管理を展開し、省エネ活動を通じて地球温暖化防止に努めています。

### 東レエンジニアリング瀬田工場 省エネ目標と実績(一日あたりの電力量)



## 環境保全訓練

万一排水異常が発生した時の事を想定し、排水異常訓練を定期的の実施しています。



## その他の活動

### 地域社会とのコミュニケーション



#### 河川清掃

毎年「びわ湖を美しくする活動」の一環として、工場近くの河川清掃を行っています。工場内の草川では、近年「蚩」が多く見られる様になりました。

#### 紙パックの再利用

社員寮で牛乳パックを回収し、支所に届けるリサイクル活動を行っています。



#### 通学路として構内利用

小学生の交通事故防止を目的に、構内を通学路として利用していただいています。



#### アルミ缶回収活動

知的障害者授産施設「ノエルしごとの家」のアルミ回収事業に協力しています。

**'TORAY'**

このパンフレットは再生紙を使用しています。

発行 2003年6月